

第2回病院連絡会結果の概要（大阪市二次医療圏）

1 第2回病院連絡会の参加状況と病院プラン2019年度更新版の提出状況

【資料3】

基本保健医療圏	公立・公的・民間等	対象病院数 (A)	出席病院数 (B)	参加率 (B)/(A)	病院プラン提出病院数 (C)	提出率 (C)/(A)	病院プラン調査未提出病院 (第2回病院連絡会開催時点) (※)病院連絡会にて報告あり
北部基本医療圏	公立	2	2	100.0%	2	100.0%	
	公的	5	4	80.0%	5	100.0%	
	民間等	29	22	75.9%	26	89.7%	神原病院、明德病院(※)、東淀川病院(※)
	合計	36	28	77.8%	33	91.7%	
西部基本医療圏	公立	—	—	—	—	—	
	公的	4	4	100.0%	4	100.0%	
	民間等	23	17	73.9%	22	95.7%	大場内科病院
	合計	27	21	77.8%	26	96.3%	
東部基本医療圏	公立	1	1	100.0%	1	100.0%	
	公的	5	5	100.0%	5	100.0%	
	民間等	57	47	82.5%	53	93.0%	芥川病院(※)、高津病院、聖バルナバ病院(※)、西下胃腸病院
	合計	63	53	84.1%	59	93.7%	
南部基本医療圏	公立	1	1	100.0%	1	100.0%	
	公的	2	2	100.0%	2	100.0%	
	民間等	45	35	77.8%	43	95.6%	オリオノ病院、松井記念病院
	合計	48	38	79.2%	46	95.8%	
合計	公立	4	4	100.0%	4	100.0%	
	公的	16	15	93.8%	16	100.0%	
	民間等	154	121	78.6%	144	93.5%	
	合計	174	140	80.5%	164	94.3%	

2 今後の医療提供体制のあり方についての確認事項

【病床機能】不足する医療機能（主として回復期）への転換の検討を第一とする。
 【診療機能】①周産期医療分野の集約化の検討、②小児医療分野の集約化の検討

* 過剰となる病床機能への転換（再稼働）に対する大阪府の基本的考え

- ①回復期から過剰病床の転換の場合：「過剰な病床への転換は控えるべき。」
- ②回復期以外からの過剰病床の転換の場合：「過剰な病床への転換は、望ましくない。」
- ③過剰病床の再稼働の場合：「過剰病床としての再稼働は、望ましくない。」

3 公立病院・公的病院・2025年に向けて病床機能転換の予定のある民間等病院・病床機能についての報告がない民間等病院の一覧

3-1 公立病院・公的病院

No.	区分 1公立 2公的 3公的 4民間等	区名	医療機関名	診療機能 【公立・公的病院】救急医療・小児・周産期					非稼働 病床 (平成30 年度病床 機能報 告) * 運用計 画書あり	病床機能（2019年度病院プラン調査）																	【参考】 過剰となる病 床機能への 転換（再稼 働）に対す る大阪府の基 本的考え						
				基本保健医療圏 占有率※1 (%)		圏域占有率※2 (%)				今後の方向性 プラン・連絡会 にて具体的な 方向性の説明 があった場合 <凡例> 機能拡大 機能縮小 機能廃止 他病院との再編	現状の機能別病床数 (2018年7月1日現在)						2025年の機能別病床数					転換病床数（2025年に向けた病床機能・病床数等の変更予定の有無）											
				【救急】 救急車 搬送件 数	【周産 期】 分娩	【周産 期】 ハイリ スク 分娩加 算	【周産 期】 NICU 等 算定回 数	【小児】 小児入 院医療 管理料			合計 病床数	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休床中	合計 病床数	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休床中	合計 病床数	高度 急性期	急性期	回復期		慢性期	休床中	介護 医療院	第2回病 院連絡会 以後の転 換予定の 有無	機能変更 (予定) 時期	具体的な内容
1	2公的 ①	北区	N1 社会福祉法人 恩賜財 団 済生会支部 大阪 府済生会中津病院	10.9	7.4	-	-	1.6		712	101	500	111	0	0	648	54	498	96	0	0	▲ 64	▲ 47	▲ 2	▲ 15	0	0		○	2023年 春	・地域の基幹病院として、今後もがん、救急、災害、周産期医療などを担っていく。 ・2023年春に大淀南に分院を開設し、本院の回復期病床を移設し、96床の回復期機能病院（回りハ）とする。 ・その際、本院は高度急性期、急性期のみ に特化し、601床とするが、2025年に向 け、550床程度にダウンサイジング予定。		
2	2公的 ①	北区	N2 健康保険組合連合会 大阪中央病院	0.1	-	-	-	-		143	0	143	0	0	0	143	0	143	0	0	0	0	0	0	0	0	0				* 再検証要請病院 ・健康保険組合連合会の経営状況の厳し さから、2020年夏ごろに譲渡予定。		
3	2公的 ①	北区	N3 大阪整肢学院	-	-	-	-	-		100	0	0	0	100	0	100	0	0	0	100	0	0	0	0	0	0				・慢性期の病院で、現状の機能を維持す る。			
4	3公的 ②	01 北区	N4 公益財団法人 田附興 風会 医学研究所 北野 病院	17.8	12.0	13.8	3.8	10.0		687	41	646	0	0	0	687	46	641	0	0	0	0	5	▲ 5	0	0	0		○	未定	・地域の基幹病院としての役割を担うと ともに、高度先端医療を提供していく。 ・精神科については、2023年に廃止予定。 ・急性期（急性期一般1・小児入院4） 5床を高度急性期（新生児治療回復 室・特定集中治療室1）へ転換予定。	② 急→高	
5	1公立	北区	N9 大阪市立総合医療セン ター	8.7	18.2	21.7	35.5	31.1		975	818	157	0	0	0	950	784	166	0	0	0	▲ 25	▲ 34	9	0	0	0		○	未定	・三次救急、小児救急、救急体制の強化 など公立病院としての役割を果たしている。 ・高度急性期（急性期一般1・小児入院 1等）34床を急性期9床（小児入院 1）へ転換、25床を減床予定。	② 高→急	
6	1公立	北区	N18 大阪市立十三市民病 院	1.9	9.3	2.7	-	1.4		224	5	219	0	0	0	224	5	219	0	0	0	0	0	0	0	0				・小児・周産期、救急医療を担っている。 ・市内で唯一の結核病床を有する。			
7	3公的 ②	東淀 川区	N26 宗教法人 在日本南ブ レスピティアンミッシ ョン 淀川キリスト教病 院	12.3	22.2	10.2	4.9	7.0	救急；機能 拡大	581	163	391	27	0	0	581	163	391	27	0	0	0	0	0	0	0				・小児・周産期、特にハイリスク分娩を受け 入れている。 ・今後、救急についてはさらに受入を増やし ていきたい。 ・子どもホスピス病棟の回復期転換を検討し ていたが、平成記念病院へ譲渡し、2020 年3月回復期（地域包括ケア）の病院と して開院予定。			
8	2公的 ①	福島 区	W1 独立行政法人地域医 療機能推進機構大阪 病院	9.0	14.2	1.1	5.8	4.0	小児・周産 期；機能縮 小	565	30	535	0	0	0	565	30	535	0	0	0	0	0	0	0	0				・平均在院日数が短縮しており、565床の 一般急性期の見直しを検討中。特に、少 子化で分娩件数が減っており、小児周産期 のダウンサイジングを検討したい。			
9	3公的 ②	西区	W10 公益財団法人日本生 命済生会 日本生命病 院	6.7	8.3	-	-	1.3		350	49	301	0	0	0	350	8	342	0	0	0	0	▲ 41	41	0	0	0		○	未定	・心疾患、がん、救急、周産期医療を中心 に担っていく。 ・高度急性期（急性期一般1）49床の うち、8床のみを高度急性期（急性期一般 1）とし、41床は急性期（小児入院医療 管理料4・急性期一般1）に転換予定。 ・回復期を担う予定はない。	② 高→急	
10	2公的 ①	港区	W18 独立行政法人地域医 療機能推進機構 大阪 みなと中央病院	2.8	-	-	-	-		41*	275	8	222	45	0	0	275	8	221	46	0	0	0	0	▲ 1	1	0	0		○	2020年 2月	・2019年9月に新築移転し、稼働率は 90%を超え、病床確保が困難となってい る。 ・2015年1月より休床中の41床を急性期 （急性期一般1）にて2020年2月再稼 働予定。	③ 休→急

No.	区分 1公立 2公的 ① 3公的 ② 4民間 等	区名	医療機関名	診療機能 【公立・公的病院】救急医療・小児・周産期					非稼働 病床 (平成30 年度病床 機能報 告) *運用計 画書あり	病床機能（2019年度病院プラン調査）																	【参考】 過剰となる病 床機能への 転換（再稼 働）に対する 大阪府の基本 的考え						
				基本保健医療圏 占有率※1 (%)		圏域占有率※2 (%)				今後の方向性 プラン・連絡会 にて具体的な 方向性の説明 があった場合 <凡例> 機能拡大 機能縮小 機能廃止 他病院との再編	現状の機能別病床数 (2018年7月1日現在)						2025年の機能別病床数						転換病床数（2025年に向けた病床機能・病床数等の変更予定の有無）										
				【救急】 救急車 搬送件 数	【周産 期】 分娩	【周産 期】 ハイリ スク 分娩加 算	【周産 期】 NICU 等 算定回 数	【小児】 小児入 院医療 管理料			合計 病床数	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休床中	合計 病床数	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休床中	合計 病床数	高度 急性期	急性期	回復期		慢性期	休床中	介護 医療院	第2回病 院連絡会 以後の転 換予定の 有無	【プラン・連絡会等での病院の説明】	
																																機能変更 (予定) 時期	具体的な内容
11	2公的 ①	大正 区	W21 社会福祉法人恩賜財 団大阪府済生会泉尾 病院	6.0	-	-	-	-		52*	440	6	222	100	60	52	440	6	274	120	40	0	0	0	52	20	▲20	▲52			2018年 10月	・2011年5月から休床中であった52床については、2018年10月より急性期（急性期一般1）として再稼働しており、現在、非稼働病床はない。 ・建物老朽化に伴い、2027年頃を目途に現地での新病院建設を検討しており、その際、ダウンサイジングも検討する。	③ 休→急
12	1公立	中央 区	E①1 地方独立行政法人 大 阪府立病院機構 大阪 国際がんセンター	0.6	-	-	-	-			500	500	0	0	0	0	500	500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			・がんに特化し、高度先端医療を提供する。 ・2025年に向け、医療機能・病床機能変更予定なし。	
13	2公的 ①	中央 区	E①2 独立行政法人国立病 院機構大阪医療セン ター	6.5	4.8	0.5	-	-		109*	688	579	0	0	0	109	688	50	529	0	0	109	0	▲529	529	0	0	0	○	2023年 頃	・高度急性期の府の考え方（HCUと同程度）に則り、見直しを行い、高度急性期（急性期一般1）529床を急性期（急性期一般1）へ報告変更予定。 ・2023年度を目途に病院建替計画を進めており、非稼働病床109床については、すべて返還予定。	② 高→急	
14	2公的 ①	中央 区	E①3 国家公務員共済組合 連合会 大手前病院	6.9	-	-	-	-			401	213	142	46	0	0	401	213	142	46	0	0	0	0	0	0	0	0			・救急医療、循環器、がんを中心とした診療を担っており、2025年に向け、病床機能の変更予定なし。		
15	2公的 ①	城東 区	E①13 社会福祉法人 大阪府 済生会野江病院	9.8	6.6	1.5	-	0.9			400	18	382	0	0	0	400	18	382	0	0	0	0	0	0	0	0			・地域の基幹病院として、多くの診療機能を優先順位1位と位置づけている。 ・救急医療では、市内全域から救急搬送を受け入れている。 ・地域医療支援病院として、地域密着型の医療を行っている。			
16	2公的 ①	天王 寺区	E②1 大阪赤十字病院	16.2	9.6	9.0	10.7	8.2		20	957	897	0	0	60	0	922	842	20	0	60	0	▲35	▲55	20	0	0	0			2018年 4月 2018年 9月	・2018年4月高度急性期（急性期一般1）55床のうち、急性期（緩和ケア）20床へ転換のための工事により、休床。残り35床はダウンサイジングした。 ・非稼働病床20床は2018年9月～急性期（緩和ケア）として再稼働した。	② 高→急 ③ 休→急
17	3公的 ②	天王 寺区	E②2 医療法人 警和会 大阪 警察病院	11.2	5.9	4.4	-	1.1		53*	580	42	526	0	0	12	580	42	526	0	0	12	0	0	0	0	0	0	○	2026年	・2026年の7年後を目途に第二大阪警察病院と統合して、新病院に建替予定。 ・非稼働病床53床については、新病院建替時に再稼働するか検討する。余剰病床はダウンサイジング予定。	③ 休→不明	
18	2公的 ①	阿倍 野区	S①1 大阪市立大学医学部 附属病院	5.2	14.2	5.1	0.5	4.4		43	934	934	0	0	0	0	934	934	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	未定	・高度先進医療を担っており、今後も引続き、その役割を果たしていく。 ・非稼働病床43床は病棟整備のためであり、整備が出来次第、再稼働する予定。	③ 休→不明	
19	3公的 ②	東住 吉区	S①8 医療法人 橋会 東住 吉森本病院	14.1	-	-	-	-			329	8	321	0	0	0	329	8	321	0	0	0	0	0	0	0	0			・救急を中心とした急性期医療を担っている。			
20	1公立	住吉 区	S②5 地方独立行政法人大 阪府立病院機構大阪 急性期・総合医療セン ター	20.2	15.7	5.7	0.9	7.0		56	831	588	100	49	38	56	831	644	100	49	38	0	0	56	0	0	0	▲56			2018年 10月 2019年 5月	・過剰病床については独自で最も厳しい高度急性期と急性期の定義を設定したため、当時より診療実態としては高度急性期であり、転換したものではない。 ・非稼働病床56床については、「大阪府市共同住吉母子医療センター」の併合・開設があり、小児周産期医療部門を移設した後、旧病棟を再編整備し、新たに二次救急病棟、女性病棟を開設する工事のため、休床としていた。1病棟については2018年10月、もう1病棟については2019年5月から高度急性期として、再稼働した。	② 急→高 ③ 休→高

※1基本保健医療圏内に所在する医療機関の診療実績の合計に占める、当該医療機関の診療実績の割合。

※2圏域内に所在する医療機関の診療実績の合計に占める、当該医療機関の診療実績の割合。

3-2 2025年に向けて病床機能転換の予定のある民間等病院・病床機能についての報告がない民間等病院

【北部】

No.	区分 1公立 2公的 ① 3公的 ② 4民間 等	区名	医療機関名	非稼働病床 (平成30年 度病床機能 報告) *運用計画 書あり	病床機能 (2019年度病院プラン調査)																						【参考】 過剰となる病 床機能への 転換(再稼 働)に対する 大阪府の基本 的考え
					現状の機能別病床数 (2018年7月1日現在)						2025年の機能別病床数						転換病床数 (2025年に向けた病床機能・病床数等の変更予定の有無)										
					合計 病床数	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休床中	合計 病床数	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休床中	合計 病床数	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休床中	介護 医療院	第2回病院 連絡会以後 の転換予定 の有無	機能変更 (予定) 時期	具体的な内容	
21	4民間等	北区	N6 社会医療法人 行岡医学 研究会 行岡病院	12	347	8	176	56	107	0	312	8	141	56	107	0	▲ 35	0	▲ 35	0	0	0		○	未定	・非稼働病床12床については、急性期（急性期一般1）35床を返還し、ダウンサイジング予定。	
22	4民間等	北区	N8 医療法人渡辺医学会 桜 橋渡辺病院	36	171	26	145	0	0	0	171	26	145	0	0	0	0	0	0	0	0	0				・非稼働病床36床については、報告誤りで、すべて稼働している。	
23	4民間等	都島区	N12 医療法人尽生会聖和病院	10	128	0	55	41	32	0	128	0	55	41	32	0	0	0	0	0	0	0		○	未定	・非稼働病床10床については、ダウンサイジング予定。	
24	4民間等	都島区	N13 医療法人 桜希会 東朋 病院		100	0	0	0	100	0	100	0	0	60	40	0	0	0	0	60	▲ 60	0		○	未定	・慢性期（障害者10対1）60床を回復期（地域包括ケア1）へ転換予定。	
25	4民間等	都島区	N15 医療法人 京昭会 ツチ病 院		99	0	24	0	75	0	99	0	0	0	99	0	0	0	▲ 24	0	24	0		○	未定	・急性期（急性期一般1）24床を慢性期（緩和ケア2）へ転換予定。	② 急→慢
26	4民間等	都島区	N16 医療法人新明会神原病院																							・病院プラン未提出	
27	4民間等	淀川区	N20 貴生病院		115	0	60	0	55	0	115	0	0	60	55	0	0	0	▲ 60	60	0	0		○	未定	・急性期（地域一般1）60床を回復期（地域一般1）へ転換予定。	
28	4民間等	淀川区	N22 東淀川病院	16	92	0	23	0	53	16	92	0	39	0	53	0	0	0	16	0	0	▲ 16				・非稼働病床16床については、報告誤りで、すべて稼働している。	
29	4民間等	東淀川区	N27 医誠会病院		327	30	297	0	0	0	327	98	229	0	0	0	0	68	▲ 68	0	0	0		○	2023年 4月	・2023年4月扇町へ城東中央病院との統合移転を検討している。 ・その際、急性期（急性期一般1）68床を高度急性期（特定集中治療室・総合周産期特定集中治療室・新生児特定集中治療室）へ転換予定。	② 急→高
30	4民間等	東淀川区	N29 成仁会病院		60	0	33	0	27	0	60	0	21	12	27	0	0	0	▲ 12	12	0	0		○	未定	・急性期（急性期一般6）12床を回復期（地域包括ケア2）へ転換予定。	

【西部】

No.	区分 1公立 2公的 ① 3公的 ② 4民間 等	区名	医療機関名	非稼働病床 (平成30年 度病床機能 報告) *運用計画 書あり	病床機能 (2019年度病院プラン調査)																				【参考】 過剰となる病 床機能への 転換 (再稼 働) に対する 大阪府の基本 的考え		
					現状の機能別病床数 (2018年7月1日現在)						2025年の機能別病床数						転換病床数 (2025年に向けた病床機能・病床数等の変更予定の有無)									機能変更 (予定) 時期	具体的な内容
					合計 病床数	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休床中	合計 病床数	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休床中	合計 病床数	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休床中	介護 医療院	第2回病院 連絡会以後 の転換予定 の有無			
31	4 民間等	福島区	W3 医療法人友愛会 松本病院		199	0	150	49	0	0	199	0	117	82	0	0	0	0	▲33	33	0	0		○	未定	・急性期 (急性期一般5) 33床を回復期 (回りハ3) へ転換予定	
32	4 民間等	福島区	W4 医療法人啓信会 中之島 いわき病院	1	98	0	66	32	0	0	98	0	66	32	0	0	0	0	0	0	0	0				・設備が老朽化しており、2020年12月西 九条 (此花区) へ新築移転予定。 ・非稼働病床1床については、夜間救急対 応用の病床としており、平成30年度は利用 実績なし。今後もこのまま維持する予定。	③ 休→急
33	4 民間等	福島区	W6 医療法人 藤田会 フジタ 病院	3	65	0	0	30	32	3	65	0	0	33	32	0	0	0	0	3	0	▲3		○	未定	・休床中の3床は建替え後に回復期 (地 域包括1) として再稼働予定であるが、建 替え計画は中断している。	
34	4 民間等	此花区	W7 社会福祉法人 大阪暁明 館 大阪暁明館病院		482	4	217	60	201	0	462	4	199	60	199	0	▲20	0	▲18	0	▲2	0		○	2020年 2月	・稼働率が77%であるため、2020年2月に 20床 (急性期 (急性期一般1) 18床 + 慢性期2床) ダウンサイジングする。 ・その際、21床を緩和ケア2 (慢性期) と する。	
35	4 民間等	此花区	W9 大場内科病院																							・病院プラン未提出	
36	4 民間等	西区	W14 医療法人 仁生会 内藤 病院		97	0	27	0	42 その他 28	0	69	0	27	0	42	0	▲28	0	0	0	その他 ▲28	0	28			・その他介護施設・福祉施設28床を介護医 療院へ転換するか検討中である。	
37	4 民間等	西区	W15 吉川病院	4	72	0	22	0	50	0	72	0	22	0	50	0	0	0	0	0	0	0				・非稼働病床4床については、報告誤りで、 すべて稼働している。	
38	4 民間等	西淀川区	W25 公益財団法人大阪労働衛 生センター第一病院	23	213	0	118	0	95	0	213	0	118	0	95	0	0	0	0	0	0	0				・非稼働病床23床については、病院連絡会 欠席のため、詳細不明	③ 休→不明

No.	区分 1公立 2公的 3公的 4民間等	区名	医療機関名	非稼働病床 (平成30年 度病床機能 報告) *運用計画 書あり	病床機能（2019年度病院プラン調査）																				【参考】 過剰となる病 床機能への 転換（再稼 働）に対する 大阪府の基本 的考え			
					現状の機能別病床数 (2018年7月1日現在)						2025年の機能別病床数						転換病床数（2025年に向けた病床機能・病床数等の変更予定の有無）									【プラン・連絡会等での病院の説明】		
					合計 病床数	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休床中	合計 病床数	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休床中	合計 病床数	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休床中	介護 医療院	第2回病院 連絡会以後 の転換予定 の有無		機能変更 (予定) 時期	具体的な内容	
47	4 民間等	東成区	E②12 明生第二病院		133	0	0	36	97	0	133	0	0	103	30	0	0	0	0	0	67	▲ 67	0		○	未定	・慢性期（障害者10対1）67床を回復期（回リハ1・地域包括ケア1）への転換を検討中。	
48	4 民間等	東成区	E②13 医療法人中本会 中本病院		115	0	35	20	60	0	115	0	0	55	60	0	0	0	▲ 35	35	0	0		○	未定	・急性期（急性期一般7）35床を回復期（地域包括ケア1）へ転換予定。		
49	4 民間等	東成区	E②14 医療法人弘善会 矢木脳神経外科病院		92	16	76	0	0	0	92	16	57	19	0	0	0	0	▲ 19	19	0	0			2018年11月	・急性期（急性期一般1・地域包括ケア4）19床を2018年11月に回復期（地域包括ケア1）へ転換した。		
50	4 民間等	生野区	E②20 医療法人のぞみ会 新大阪病院	7	205	0	0	0	205	0	199	0	0	0	199	0	▲ 6	0	0	0	▲ 6	0			2019年12月	・非稼働病床7床については、2019年12月療養慢性期（療養病棟1）6床をダウンサイジングし、現在は199床稼働している。		
51	4 民間等	生野区	E②21 医療法人同友会 共和病院		211	0	44	64	103	0	199	0	44	64	91	0	▲ 12	0	0	0	▲ 12	0			2019年8月	2019年8月に211床→199床へダウンサイジングした。この際、介護療養病床を医療療養病床へ転換した。		
52	4 民間等	生野区	E②23 医療法人朝日会 朝日生野病院	4	141	0	0	0	141	0	141	0	0	0	141	0	0	0	0	0	0	0				・非稼働病床4床については、報告誤りで、すべて稼働している。		
53	4 民間等	生野区	E②24 医療法人敬仁会 なみはやリハビリテーション病院 (旧 医療法人敬仁会 今里胃腸病院)		120	0	60	0	60	0	120	0	0	120	0	0	0	▲ 60	120	▲ 60	0		○	2025年までに	・2019年12月病院名変更。 ・急性期（急性期一般7）60床、慢性期（障害者10対1）60床を2025年に向け、120床すべてを回復期（回リハ1）へ転換予定。（①2019年11月から急性期32床、回復期44床、慢性期44床へ転換、②2020年4月急性期を回復期へ転換。）			
54	4 民間等	生野区	E②25 医療法人 同仁会 松崎病院		113	0	113	0	0	0	113	0	58	0	55	0	0	0	▲ 55	0	55	0				・急性期（障害者15対1）55床を慢性期（障害者13対1）へ転換したが、病床機能報告上の変更のみであり、医療機能に変更はない。	② 急→慢	
55	4 民間等	生野区	E②29 医療法人 穂翔会 村田病院		70	3	37	30	0	0	70	6	34	30	0	0	0	3	▲ 3	0	0	0		○	未定	・2019年9月primary stroke centerの認可を得た。今後、脳卒中の症例数の状況により、急性期（急性期一般5）3床を高度急性期（脳卒中ケア）へ転換予定。	② 急→高	
56	4 民間等	生野区	E②30 医療法人アエバ会 アエバ外科病院	17	77	0	60	0	0	17	60	0	60	0	0	0	▲ 17	0	0	0	0	▲ 17			2019年9月	・非稼働病床17床については、2019年9月に10床ダウンサイジングし、現在は67床にて稼働している。		
57	4 民間等	生野区	E②31 医療法人 吉栄会 吉栄会病院		61	0	0	61	0	0	61	0	21	40	0	0	0	0	21	▲ 21	0	0		○	未定	・回復期（地域一般3）21床を急性期（緩和ケア1）へ転換予定。	① 回→急	
58	4 民間等	生野区	E②32 医療法人芥川会 芥川病院		50	0	0	10	40	0	50	0	0	0	50	0	0	0	▲ 10	10	0			2019年8月	・2019年8月一般病床10床を療養病床に変更。その際、回復期（一般病棟特別）から慢性期（療養病棟1）へ転換した。	① 回→慢		

【南部】

No.	区分 1公立 2公的 3公的 ② 4民間 等	区分名	医療機関名	非稼働病床 (平成30年 度病床機能 報告) *運用計画 書あり	病床機能 (2019年度病院プラン調査)																				【参考】 過剰となる病 床機能への 転換(再稼 働)に対する 大阪府の基本 的考え					
					現状の機能別病床数 (2018年7月1日現在)						2025年の機能別病床数						転換病床数(2025年に向けた病床機能・病床数等の変更予定の有無)													
					合計 病床数	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休床中	合計 病床数	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休床中	合計 病床数	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休床中	介護 医療院	第2回病院 連絡会以後 の転換予定 の有無		【プラン・連絡会等での病院の説明】				
																										機能変更 (予定) 時期	具体的な内容			
59	4民間等	阿倍野区	S①2 大阪鉄道病院	23	303	0	244	40	19	0	303	0	244	40	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		○	2017年	・2年前に急性期48床を慢性期(緩和ケア1) 19床に転換し、ダウンサイジングした。 ・非稼働病床23床については報告誤りで、303床すべて稼働している。	
60	4民間等	阿倍野区	S①3 医療法人相愛会相原第二病院		198	0	72	82	44	0	198	0	42	112	44	0	0	0	▲30	30	0	0			○	未定	・急性期(急性期一般4) 30床を回復期(地域包括ケア)へ転換予定。			
61	4民間等	阿倍野区	S①6 奥野病院	9*	53	0	0	0	44	9	53	0	0	0	53	0	0	0	0	9	▲9			○	2020年夏頃 2021年夏頃	・非稼働病床9床については、平成30年4月分分娩休止のため、休床とした。2020年夏頃に4床を、2021年夏頃に5床をいずれも慢性期(地域一般3)として再稼働予定。	③ 休→慢			
62	4民間等	東住吉区	S①11 淀井病院		96	0	47	0	49	0	96	0	24	23	49	0	0	0	▲23	23	0	0			○	未定	・急性期(地域一般3) 23床を回復期(地域包括ケア1)へ転換予定。			
63	4民間等	平野区	S①15 医療法人寺西報恩会 長吉総合病院		333	0	142	50	141	0	281	0	142	50	89	0	▲52	0	0	0	▲52	0	52		○	未定	・慢性期(療養病床1) 52床を介護医療院へ転換予定。			
64	4民間等	平野区	S①18 医療法人 正和病院	7	165	0	21	30	107	7	165	0	58	54	53	0	0	0	37	24	▲54	▲7			○	2020年頃	・慢性期(療養) 107床のうち、1病棟54床を年内に回復期(地域包括ケア1)へ転換予定。 ・現在、急性期21床、回復期(地域包括ケア病床) 30床で1病棟としており、約半年後には混合病棟となっている回復期(地域包括ケア病床)をすべて急性期(急性期一般4)へ転換予定。 ・非稼働病床7床については療養病床から一般病床への変更に伴い、再稼働する。	② 慢→急 ③ 休→不明		
65	4民間等	平野区	S①20 医療法人松仁会松井記念病院																									・病院プラン未提出		
66	4民間等	平野区	S①21 医療法人育生会 三好病院		69	0	33	0	36	0	69	0	25	8	36	0	0	0	▲8	8	0	0			○	未定	・急性期(地域一般3) 8床を回復期(地域包括ケア1)へ転換予定。			
67	4民間等	平野区	S①22 医療法人愛賛会浜田病院		53	0	53	0	0	0	48	0	48	0	0	0	▲5	0	▲5	0	0	0			○	未定	・急性期(急性期一般7) 5床を個室化のため、ダウンサイジング予定。			
68	4民間等	平野区	S①23 松本病院		51	0	0	0	51	0	51	0	0	8	43	0	0	0	8	▲8	0			○	未定	・慢性期(療養病床1) 5床を回復期(地域包括1)へ転換予定。				
69	4民間等	住之江区	S②4 社会医療法人三宝会 南港病院		109	0	36	73	0	0	109	0	45	64	0	0	0	0	9	▲9	0	0			○	未定	・サブアキュートを担う病床が不足しているため、回復期(回リハ3) 9床を急性期(急性期一般6)へ転換予定。	① 回→急		
70	4民間等	住吉区	S②6 医療法人 錦秀会 阪和病院		549	0	0	0	549	0	432	0	0	0	432	0	▲117	0	0	0	▲117	0			○	2022年5月	・阪和第二病院と統合(詳細は後述)			
71	4民間等	住吉区	S②8 医療法人 慈心会 あびこ病院		135	0	135	0	0	0	135	0	43	92	0	0	0	0	▲92	92	0	0				2018年8月	・2018年8月に急性期(急性期一般4+地域包括1) 92床を回復期(地域包括ケア1)へ転換した。			

No.	区分 1公立 2公的 ① 3公的 ② 4民間等	区名	医療機関名	非稼働病床 (平成30年 度病床機能 報告) *運用計画 書あり	病床機能 (2019年度病院プラン調査)																				【参考】 過剰となる病 床機能への 転換(再稼 働)に対する 大阪府の基本 的考え			
					現状の機能別病床数 (2018年7月1日現在)						2025年の機能別病床数						転換病床数 (2025年に向けた病床機能・病床数等の変更予定の有無)									【プラン・連絡会等での病院の説明】		
					合計 病床数	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休床中	合計 病床数	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休床中	合計 病床数	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休床中	介護 医療院	第2回病院 連絡会以後 の転換予定 の有無		機能変更 (予定) 時期	具体的な内容	
72	4民間等	住吉区	S②9 阪和記念病院		135	18	77	0	40	0	481	0	157	108	216	0	346	▲18	80	108	176	0		○	2022年 5月	・阪和住吉総合病院と統合(詳細は後述)		
73	4民間等	住吉区	S②10 医療法人守田会 オリオノ 病院																								・病院プラン未提出	
74	4民間等	住吉区	S②11 医療法人錦秀会 阪和住 吉総合病院		115	0	115	0	0	0	0	0	0	0	0	0	▲115	0	▲115	0	0	0		○	2022年 5月	・阪和記念病院と統合(詳細は後述)		
75	4民間等	住吉区	S②12 医療法人錦秀会 阪和第 二病院		114	0	0	0	114	0	0	0	0	0	0	▲114	0	0	0	▲114	0		○	2022年 5月	・阪和病院と統合(詳細は後述)			
76	4民間等	住吉区	S②13 越宗整形外科病院		30	0	0	0	30	0	30	0	10	20	0	0	0	0	10	20	▲30	0			2018年 11月	・2018年11月新築移転し、療養病床30床を一般病床に変更。 ・この際、慢性期(療養病床1)30床を急性期(急性期一般1)+回復期(特定一般病床2)に転換した。	② 慢→急	
77	4民間等	西成区	S②14 医療法人山紀会 山本第 三病院	36	311	0	203	27	81	0	311	0	203	27	81	0	0	0	0	0	0	0		○	未定	・非稼働病床36床については、療養環境の整備のため、休床している。時期未定であるが、新築移転の際に、回復期(回リハ)として稼働予定。		
78	4民間等	西成区	S②16 医療法人ダイワ会 大和中央 病院	42	227	0	143	0	84	0	190	0	110	0	80	0	▲37	0	▲33	0	▲4	0			2018年 10月	・非稼働病床42床については、2018年10月に227床(一般143床、療養84床)→190床(一般110床、療養80床)にダウンサイジングし、急性期(地域一般3・障害者13対1)110床+慢性期(療養病床1)80床とした。		
79	4民間等	西成区	S②20 社会福祉法人 大阪社会 医療センター 付属病院	20	80	0	60	0	0	20	80	0	50	0	30	0	0	0	▲10	0	30	▲20		○	2020年 12月	・非稼働病床20床については、2020年12月新病院開院予定であり、開院時に再稼働予定。 ・平成27年より有識者検討会にて地域の要望もあり、休床中の20床と急性期(地域一般1)10床の計30床を慢性期(療養病床1)へ、再稼働時転換予定。	② 急→慢 ③ 休→慢	
再掲	4民間等	住吉区	(再掲) 医療法人錦秀会 4病院		913	18	192	0	703	0	913	0	157	108	648	0	0	▲18	▲35	108	▲55	0		○	2022年 5月	・阪和病院、阪和第二病院、阪和住吉総合病院、阪和記念病院の4病院を統合し、2病院にて2022年5月に開院予定。 ①新阪和記念病院(仮称)については、急性期157床、回復期(地域包括ケア・回リハ)108床、慢性期(療養)216床の計481床 ②新阪和病院については、慢性期(療養)432床 となり、病床数は913床で現状のままで変更なく、高度急性期18床、急性期35床、慢性期55床の計108床を回復期へ転換予定。		